



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

12月8日、第33回全
高校高等学校文芸コン
クールの文芸部誌部門
で文芸部の部誌『窓』
の第七十五号が優良賞
を受賞した。文芸部の
『窓』はこれで5年連
続の入賞となる。12月
15日には東京都の国立
オリンピック記念青少
年総合センターでその
授賞式が行われ、文芸
部員2名が参加した。



授賞式では最優秀賞を受賞した生徒のスピーチや小説家を招いた講演会、参加生徒による編集会議などが行われたそうだ。

授賞式について、授賞式に参加した文芸部部長の西川賢君(2-6)は「自分たちだけでなく、ほかの学校も部内で協力しあい、全力を尽くしていることを知れた。入賞作品集を見ても全体のレベルが高く、表現も豊かで自分たちとの差を感じた」と話し、文芸部員の陌間紗佳さん(1-6)は「参加していた生徒から書くことへの強い気持ちが伝わってきた。いろんな話を聞けて、書く側の自分たちが楽しむだけでなく、読む人のことも考えた部誌を作ることが重要だと改めて思った」と振り返った。

また西川君は部誌制作を振り返って「焦らないよう早めに作品を仕上げようと思っていたが、だんだん間に合わな

くなり相互添削などができなかった部分もできてしまった」と悔しさをにじませ、今後の活動について「今回の授賞式で審査員の先生が作品の質を上げることが大切だと何度もおっしゃっていた。だから次は早めに作品を完成させてしっかりと相互添削をし、作品の質を上げたい。また今回は堅苦しい企画が多く、にぎやかな企画が少なかったので七十六号は楽しそうな企画を中心に展開したい」と意欲を見せた。

また文芸部顧問の京極文字先生は今回の結果について「今までは3年連続でベスト4相当である優秀賞をもらっており、そのことはかなりプレッシャーになっていたと思う。制作時は1年生の部員もいなかったなかで格闘した3年生部員の努力が報われてほしい」と微笑まれ、これからの活動について「七十五号のテーマが『それから』だったので総文の経験を基礎の土台とし、さらなる高みへと飛躍できるような取り組みをしてもらいたい。受け継いだものを大事にしつつも過去にとらわれずに新しいものを作っていくってほしい」と熱いエールを送られた。

▶優良賞を受賞した窓七十五号

